

# 議会だより ふだい

FUDAI 40

岩手県普代村議会

No. 144

平成30年7月26日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



羅賀橋復旧工事など24事業繰り越し、定例会概要、質疑—6月定例会 2頁～  
防災士の育成、自治体行政の2040年問題など一般質問に2人 6頁～  
陳情2件を採択、議場以外の議会活動 8頁～ 議会の動き 11頁

普代の初夏の  
風物詩「ウニ漁」

写真愛好家カマタニヒサトさん提供

◆ H30年度へ繰り越した事業 ◆



8月着工予定の普代橋補修補強工事

◆ H29年度の一般会計分 (単位:万円)

事業名	金額	翌年度繰越額
水産物供給基盤機能保全事業	1944	1944
白井漁港漁村再生交付金事業	1億8087	1億4026
道路施設補修・補強工事	2800	1763
橋梁補修・補強工事(普代橋)	1億652	1億652
村道堀内中央線道路改良工事	3584	2384
村道黒崎港線道路改良工事	2000	1270
村道補修工事	2700	880
村道堀内中央線道路用地購入費	300	225
河川土砂撤去役務料	500	316
南浜住宅建替事業(監理)	1800	435
南浜住宅建替事業(外構工事)	9258	1456
南浜住宅建替用地造成工事(外構分)	485	377
社会体育館トイレ改修工事設計監理委託料	81	75
社会体育館トイレ改修工事	624	583
29災67号村道南白井港線道路災害復旧工事	1100	1100
合計	5億5915	3億7486

◆ H28年度の一般会計分 (単位:万円)

事業名	金額	翌年度繰越額
村道普代駅前1号線道路改良工事	2億9920	2億6838
村道普代駅前1号線立木等補償費(建物・電柱)	250	100
28災420号村道普代茂市線道路災害復旧工事	1220	732
28災421号村道普代茂市線道路災害復旧工事	1296	778
28災422号村道普代茂市線道路災害復旧工事	529	317
28災732号村道普代平井賀線(羅賀橋)橋梁災害復旧工事	1億7511	1億1066
合計	5億726	3億9831

◆ H29年度の簡易水道特別会計分 (単位:万円)

事業名	金額	翌年度繰越額
普代簡水配水管布設替工事	1720	1720
上普代5号線外配水管布設工事	325	325
普代簡水(水管橋)水道施設災害復旧工事	3850	2437
合計	5895	4482

※合計額を合わせるため一部千円未満を切り上げています

道路の工事など  
24事業繰り越し

報告案件

村からの報告では、左の表のように28年度の6事業3億9831万円と29年度の18事業4億1968万円を30年度に繰り越すことが示されました。なお、6月末で村道黒崎港線道路改良工



8月末完成予定の羅賀橋災害復旧工事 (7月14日現在)

羅賀橋復旧工事など

24事業8億円を繰り越し

村議会第3回定例会(6月定例会)が6月19日開会され、11議案が全員賛成で承認・可決され、同日閉会しました。同定例会では、平成30年度の一般会計と2つの特別会計の補正予算、平成29年度一般会計などの専決処分が村から提案されたほか、羅賀橋の復旧工事など24事業8億1799万8千円の繰り越し工事などが報告されました。内容を要約してお知らせします。

一般会計  
補正予算

一般会計補正で  
約8千万円増額

▽30年度一般会計補正予算(2号)  
平成30年度の補正予算では、歳入歳出に8461万5千円を増額し、総額で29億7834万円としました。

外国人観光客  
誘致策を増額

主な歳出は、人事異動による給料など人件費の増減のほか、災害後方支援拠点広場基本設計委託料250万円、活力ある中山間地域基盤整備事業571万5千円、太田名部地区漁業振興用地購入費937万4千円をそれぞれ増額しました。  
同インバウンド事業は、田野畑村との共同実施で、外国人観光客に対応した観光地の確立と、民泊を進めるために、先進地視察を行った。観光客に説明するためのタブレット端末を活用するための購入費などが挙げられています。

質疑

災害拠点の設計  
中身の説明を!

災害対応

金子議員  
災害後方支援拠点基本

事、南浜住宅の建替事業、社会体育館トイレ改修工事、普代茂市線道路災害復旧工事などは完了済みです。

インバウンド観光  
事業の内容説明を  
観光施策

中上議員

今年度のインバウンドの事業計画と民泊の進捗状

設計委託料250万円増の中身について伺う。  
太田建設水産課長  
▽ 沢山橋の国道側のためとの上普代5号線の所に大規模災害時などで、資材置場と応援団体の受け入れ場所を31年度までに作る。普段は、公園的な広場として利用していただく。

漂着物の処理  
どれくらいか

漁港整備

況を伺う。  
道下政策推進室長  
事業計画は、昨年と同様に県外の先進地視察で、長崎県の五島市で行われる全国体験フォーラムに参加し研修する。  
また、現地研修を外部の専門家を招き2回開催する。それと、在日の留学生によるモニターツアーを2回行い、体験した感想を活用して、体験メニュープログラムを作る。さらにガイド用タブレットを10台整備する。  
民泊は、現在の受け入れ

金子議員

水産業費の漂着物等処理80万円の中身を伺う。  
太田建設水産課長

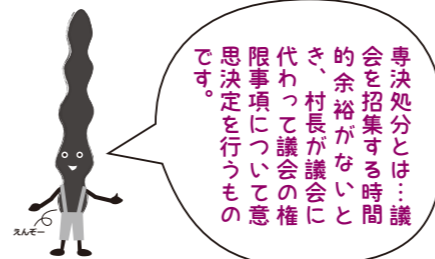
震災と一昨年の台風10号の関係から、少ししけになると流木が上がってくる。処理は堀内、沢、白井漁港の漂着物処理とまついそ公園の排水路の土石を取り除く。

専決処分

4会計1条例を  
村長専決で処分

下表の議案第1号から第5号までの平成29年度の4つの会計の補正予算、村条例の5議案の専決処分案を全員賛成で承認しました。

また、平成30年度に繰り越された事業（下表の報告1〜3）が村から報告されました。主な質疑は5ページのとおりです。



◆ 6月定例会で決まった議案 ◆



6月定例会の様様（笹屋村長の行政報告）

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	29年度 普代村一般会計補正予算（第9号）の専決処分に関し承認を求めると 補正額 545万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を32億3808万6千円にしました。国・県などの補助金の収入額の確定に伴い、関連する歳出の増減と、そのほかは除雪業務委託料1400万円の減額など、各事業の実績による減額が主なもの。	承認 (全員賛成)
議案第2号	29年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分に関し承認を求めると 補正額 431万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億7611万6千円にしました。一般被保険者療養給付費389万2千円の減額が主なもの。	
議案第3号	29年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第6号）の専決処分に関し承認を求めると 補正額 10万円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億5435万1千円にしました。普代簡水布設替測量設計委託料10万円の減額によるもの。	
議案第4号	29年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分に関し承認を求めると 補正額 36万8千円を減額し、3122万6千円にしました。保険基金安定負担金36万8千円の減額によるもの。	
議案第5号	普代村村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めると 地方税法等の一部改正に伴い、普代村村税条例の一部を改正しました。村民税の基礎控除の見直しと、固定資産税の軽減、加熱式たばこが増えたことにより「製造たばこの区分」を設置、たばこ税の3段階引き上げ、国民健康保険税の緩和など。施行は平成30年4月1日。	可決 (全員賛成)
議案第6号	30年度 普代村一般会計補正予算（第2号） 補正額 8461万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を29億7834万4千円にしました。歳出では、災害後方支援拠点広場（上区地内）基本設計委託料250万円、活力ある中山間地域基盤整備事業571万5千円（和野山の農地整備）、太田名部地区漁業振興用地購入費937万4千円、ふだいまつり開催事業補助金として200万円を婦人会のゆかたを購入。そのほか村道補修工事及び橋梁補修・補強工事に係る工事請負費として2700万円、インバウンド教育旅行受入体制構築事業336万6千円を増額しました。	
議案第7号	30年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第1号） 補正額 369万円を追加し、歳入歳出予算の総額を9389万円にしました。落合地区の配水管の修繕、白井簡水の水源のポンプ修繕が主なもの。	
議案第8号	30年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第1号） 補正額 18万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2418万円にしました。配膳室の冷蔵庫購入費18万円を増額。	可決 (全員賛成)
議案第9号	普代村東日本大震災復興交付金基金条例を廃止する条例の制定 東日本大震災復興交付金事業の完了並びに基金精算等の事務手続きが完了したことから本条例を廃止するもの。	
報告1	29年度 普代村一般会計予算繰越明許費繰越計算書 工事関連事業等15件、3億7486万2千円を30年度へ繰り越し。	-
報告2	29年度 普代村一般会計予算事故繰越明許費繰越計算書 昨年度（28年度）からの繰越事業として、道路改良関連の工事費等6件、3億9831万4千円を30年度へ繰り越し。	
報告3	29年度 普代村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について 水道施設関連の工事費3件、4482万2千円を30年度へ繰り越し。	
発議案1	「国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める意見書」の提出 住民の暮らしと命を守るために、国の出先機関の人員体制や予算を充実させ、国家公務員の定員削減計画を中止すること、地方自治体に国の役割を丸投げする道州制を導入しないことなどを、国に要望するもの。	可決 (全員賛成)
発議案2	「臓器移植の環境整備を求める意見書」の提出 臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、臓器移植に係る更なる啓発や、臓器提供施設の整備を図るための支援を行うことなどを、国に要望するもの。	

質疑

羅賀橋の完成  
まつりまでに

生活基盤の整備

**問** 羅賀橋の完成予定が9月中旬ごろと聞いているが、ふだいまつり前に前倒しして完成できないか。  
**答** 業者には、8月末には完成させてもらいたいとお願いはしているが、台風な

自動車重量税と税  
のどのような性質か

税関係

**問** 地方譲与税で自動車税の関係が542万円載っているし、249万6千円（自動車取得税）交付金が載っているが、これはどのような性質なのか。  
**答** 地方譲与税で自動車税の額は542万円載っているし、249万6千円（自動車取得税）交付金が載っているが、これはどのような性質なのか。

川向総務課長

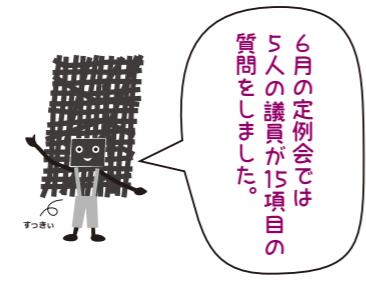
**問** 自動車重量税と税は、国税で車検を受ける自動車及び使用料の届出をする軽自動車税などの内容で、収入額の3分の1に想定する額を村道に関する費用に充てるため、県より一定の割合で市町村に交付される譲与金となる。  
**答** 自動車取得交付金については、自動車取得税について10分の7を市町村の道路に関する費用に充てるため、道路の延長や面積に応じて市町村に交付される部

障害者等自立支援  
給付費減の内容は

福祉施策

**問** 障害者等自立支援給付費減842万1千円について、当初の額は。また、内容について伺う。  
**答** 当初12月の補正により1200万円増額して8400万円の予算である。月700万円くらいで推移す

分の交付金となるものである。実績が630万円くらいで、結果的に800万円ほどの実績残が出たものである。



次のは

「一般質問」

2名が登壇!!

村の課題を熱く議論!

6月定例会の一般質問には、正路正敏議員、中上一登議員が登壇し、村の取り組み、考え方などを問いました。村議会では「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質問を繰り返します。

質問者と内容



**【1番目】**  
しょうじ まさとし  
**正路 正敏** 議員 6p

①防災士の育成、村との協力体制は



**【2番目】**  
なかみ かずと  
**中上 一登** 議員 7p

①自治体行政の2040年問題、どう考える

○一般質問

一般質問は、本会議で議員が執行機関である村長などに対し、村政全般に関する、事務の執行状況、村政の方針などについて質問し、または報告、説明を求めます。一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。



中上一登

地方創生

# 普代の未来戦略 達成度は

## 苦戦ながらもつなげていく

—— 榎屋村長

地域防災

# 防災士の育成 村との協力体制伺う

## 村、地域での防災力の強化に

—— 榎屋村長

正路正敏



**質問** 2040年問題として、人口構造的にこれまでの行政サービスが厳しい状況になることが報告されている。そこで、未来戦略である総合戦略の達成は将来に向けて重要となる。その一部内容について伺う。

①観光対策について  
②空き家対策状況について  
③村の考える高齢者支援は

**答弁** 榎屋村長 ①会社の設立や観光センターリニューアルなどは達成されている。しかし、その効果としては遅れ気味で、官民共同、人材育成もそのとおりであり苦戦を強いているところである。

②空き家物件は83件と厳しく感じている。その内、聞き取りで貸家にしていい件数は35件弱である。空き家バンク制度とその仲介業務について、対象者へ説明会を予定している。

③関係機関と連携し、生



2年前の平成28年8月30日の台風10号による被害。以降も豪雨災害などが全国各地で起こっています

**質問** 昨今、災害は規模が拡大傾向にあり、毎年、日本のどこかで発生している状況にある。そうした中、防災士資格がクローズアップされ、全国で15万1058名、岩手は1823名、普代村は0名（5月末現在）となっている。

村も、防災士育成に向け5名派遣、内2名は自主防災会から予定している。民間派遣で防災士資格取得後の位置付け、連携、協

力体制はいかにお考えか。

**質問** 被害の拡大防止や被災者支援などを

**答弁** 榎屋村長 各行政区に自主防災組織ができていくことを念頭に、地区会長、自主防災会の会長との相談により、補佐役の位置付けで災害発生時には、公的支援が到達するまで、被害の拡大防止や被災者支援などエリアで可能な活動をいただければと考える。

活支援を一体に官民共同でより強化する方向でいかなければと思っている。要支援者の見回りを一定サイクル巡回するべきとも考える。

**質問** 三鉄の全線開通、駅前1号線、河津

「あまちゃん」の口ケ地であった三陸鉄道堀内駅を通過する列車



「あまちゃん」の口ケ地であった三陸鉄道堀内駅を通過する列車

の一つだが、運営する人が見つかったのか伺う。

**答弁** 榎屋村長 それぞれ意見が多い中、公共スタンスとして説明責任を果たしていくことが解決と思う。

キラウミ産直は商工会を通じて案内をしたところ、数件のうち1件の方が正式に申し入れとなり準備している。

**質問** 2040年問題は住民の力も借りながらでないといけないことだ。構想段階から住民の意見を取り入れるという姿勢を徹底してほしい。そういったことを職員の仕事として習慣化できる方法はないか。

**答弁** 榎屋村長 村民個人的なご助言をいただくのは拒んでいない。

議員も聞いたら教えてほしいし、村民の皆さんも私が嫌であれば課長の方に話

今後自主防災会や各地区から派遣研修をお考えなのか。

**答弁** 榎屋村長 各行政区大小ある訳だが、1〜3名程度取得いただければと思う。

**質問** 防災士の充実を図るため消防団幹部、各事業所等への働きかけも必要と思われるが。

**答弁** 榎屋村長 現在分団長以上であるものの、並びにあったもの、退団者を含め、研修・試験・講習の事項が特例免除されることなど、周知を図り増員に努めたい。

大きな事業所などは、各行政区の充実後をお願いしていくことを肝要と考える。

**質問** 防災力、自主防災士取得は村や地域のためになるものと思われる。資格取得に対し助成制度があってもいいのではないか。

**資格の取得に助成制度を**

していただければいい。

**三セクの位置付けは**

**質問** 村民からどうのこうの聞く体制を行政がつくつたらいいことだ。

三セク会社の位置付けを伺う。会社は利益を追求するものだが、三セクの性質上「公共性」も必要だ。どちらに重きを置いた経営をしているのか。

**公共性と採算性両立**

**答弁** 榎屋村長 どちらも大切で、村全体の公共性に期待もするし、採算性も重要で両立させながら長期スパンで考えたい。

**質問** どちらもというのには欲張りと思う。

三セク会社ができたという住民へのメリットが分からなければ地域振興にならない。公共性が大切だ。

住民の目に見えるメリットを形にして三沿道が通ったところはスタンバイできることを強く要望する。

一定枠までは個人負担なし

**答弁** 榎屋村長 今年度当初予算でも5名分個人負担なしで対応するよう処置している。

今後その方向で検討、一定枠、求められる枠までは継続して取り組みたい。

**質問** 消防団に関し、現職は消防団が優先されるが、幹部で退職された方々、警察官、消防士の退職後においても対象になるということである。

そのような方々にもご協力いただけるような制度があってもいいのではないかと考える。

**答弁** 榎屋村長 防災士は、村全体あるいは地域での防災・減災・地域防災力の強化に大きな役割を果たすと考える。

今年状況を見ながら助成制度の規制・要項等、一定の目安等々議論いただいた中で、明確な制度化にも取り組んでまいりたい。

「一般質問」市政を問う

「一般質問」市政を問う

# 請願・陳情

## 陳情2件を採択

6月定例会に提出された陳情は2件でした。総務常任委員会（金子泰男委員長）で審査した結果、採択とすることに決定。本会議でも全員賛成し、発議案として国に意見書を提出しました。



結果を報告する金子総務委員長

### 公共サービス 拡充を求める

▼陳情人  
岩手県国家公務員連労働組合共闘会議 議長 岩崎保

▼陳情の内容  
国民の権利と安心・安全をまもる公務・公共サービスの拡充を求める陳情

政府は、公務員の削減をすすめ、同時に地方出先機関である法務局の大幅な廃止・統合などを実施しており、これらは国の役割を放棄するものである。よって、住民の暮らしと命、地域経

済の活性化等を図るために、人員体制や予算の充実に等々求めるもの。

▼採択の理由  
全国一律の行政サービスを提供するため、国の出先機関である法務局等の必要性を尊重し、「採択」とした。

### 臓器移植の 環境整備を

▼陳情人  
移植ソリューションを考える会 理事 井田 敏美

▼陳情の内容  
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

法改正により、脳死下での臓器提供者は年々増加しているが、臓器提供数は、必要数を大きく下回っている。理由としてドナーや臓器提供施設が少ないことが指摘されている。

▼採択の理由  
臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、早急な対策を求めるもの。

▼採択の理由  
国民が命の大切さを考える中で、臓器移植にかかる意思表示について考えることの重要性、更なる啓発や環境整備が必要であると考え、「採択」とした。

# 議場以外の 議会活動

3月定例会以降、普代小の運動会や普代中の体育祭、鶉鳥神社の例大祭、また、会議や視察などが行われました。議場以外の議員の活動などを一部紹介します。

### うのとり 議員らで鶉鳥神社を参詣

5月22日、鶉鳥神社例大祭が行われ、議員らで参詣しました。毎年村当局と合同で行っているもので、険しい山道を登りたどり着いた卯子西山頂の「奥宮」で、村の発展などを祈願しました。神楽殿では国指定重要無形民俗文化財・鶉鳥神楽も奉納されました。



### 普代小ではつつ運動会

普代小学校（畠山剛校長、児童105人）の大運動会が5月26日、同校グラウンドで行われました。議員らも応援に駆け付け、徒競走や応援合戦、綱引き、神楽など元気はつつと一生懸命競技する子供たちの姿を見て、応援しました。



### くろさき荘で東部議長会の総会

東部町村議会議長会（中村裕会長）の定期総会が5月15日、国民宿舎くろさき荘で行われました。下閉伊地区5町村の正副議長、事務局長14人が参加し、30年度の事業計画などを協議しました。総会後は「テレビを活用した高齢者遠隔見守りシステム」について学びました。



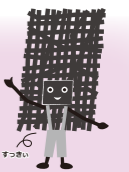
### 県議会復興委が普代を視察

岩手県議会の東日本大震災津波復興特別委員会（関根敏伸委員長）の委員11人が6月8日、村を訪れ復興状況について視察しました。

中村裕議長が出席しあいさつ。普代村漁業協同組合水産物加工処理施設では同漁協職員の説明を受け、普代浜園地キラウミの現地を視察しました。



## 教えて議会のこと！「請願」と「陳情」



請願は、国または県、市町村などの公共団体に対して、その所管する事項に関し、一定の措置等の希望を申し出ることをいいます。村議会に対して請願しようとするときは、議員の紹介により請願書を提出しなければならないことになっています。

陳情は、一定の事項に利害関係がある者が、その事項についての実情を訴えることにより、国または県、市町村

に何らかの措置などを求めることをいいます。陳情は、請願とは異なり、議員の紹介は必要ありません。

請願と陳情は、議会事務局で受け付け、議会運営委員会で、内容により総務常任委員会または産業経済常任委員会で審査することになります。その後本会議で、採択、不採択、継続審査などの委員会の審査結果を報告し、採決を取る流れになっています。

月日	場所	事項	出席者
4月24日	役場	越戸軍一氏紺綬褒章伝達式	議長
25日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
27日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
29日	普代中学校校庭ほか	村消防団特別点検	各議員
30日	太田名部市場内	自営定置網舟夫揃のお祝い	議長
5月8日	くろさき荘	普代村老人クラブ連合会定期総会	議長
15日		東部町村議会議長会定期総会	正副議長
17日	盛岡市	町村議会議員研修会	中上・正路・金子議員
20日	普代中	普代中学校体育祭	各議員
21日	宮古市	道路関係縦軸2団体合同総会	議長
	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
22日	鵜鳥神社	鵜鳥神社例大祭	各議員
23日	盛岡市	国道455号・盛岡普代間道路整備促進期成同盟会通常総会	議長
26日	普代小	普代小学校大運動会	各議員
28日	東京都	町村議会議長・副議長研修会	正副議長
	田野畑村	国道45号秋牛北地区道路工事安全祈願祭	野場産業経済常任委員長
29日	東京都	鈴木俊一大臣への要望	正副議長
	盛岡市	県土整備部関係団体合同総会	野場産業経済常任委員長
30日	役場	議会全員協議会	各議員
	くろさき荘	越戸軍一氏紺綬褒章受章祝賀会	各議員
31日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
6月1日	青森県八戸市	八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会定例総会	野場産業経済常任委員長
2日	盛岡市	東北絆まつり2018盛岡	副議長
8日	村漁協加工施設ほか	岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会現地調査	議長
9日	宮古市	三陸連携フォーラム「三陸沿岸道路と魅力あるまちづくり」	議長
10日	久慈市	平庭闘牛大会つつじ場所	副議長
11日	宮古市	三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会総会及び三陸国道事務所への要望会	議長
13日	役場	議会運営委員会	各委員
18日	宮古市	宮古室蘭航路開設記念祝賀会	議長
19日	役場	村議会第3回定例会	各議員
25日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会 議会運営等に関する協議・同議会6月臨時会	熊谷議員
27日	久慈市	岩手銀行会社説明会サマー・ミーティング	副議長
28日	役場	議会広報常任委員会	各委員
	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
7月2日	くろさき荘	大上一弘氏藍綬褒章受章祝賀会	副議長
3～5日	三重県ほか	議員行政視察研修	各議員
10～11日	軽米町	県町村議会議長会第1回定例理事会、第1回政務調査会並びに政務調査会研修会	議長
12日	久慈市	次期総合計画(素案)に係る地域説明会	副議長
		普代浜園地キラウミ安全祈願	議長
16日	太田名部	旧太田名部公民館解体清拭い、太田名部地域活動拠点施設新宅祭、太田名部港まつり祝賀会	正副議長
18日	役場ほか	矢巾町行政視察研修	各議員
20日	盛岡市	国道281号整備促進期成同盟会総会及び岩手県への要望会	議長
	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員

## お知らせ

本号または過去の「ふだい議会だより」は、村ホームページ (<http://www.vill.fudai.iwate.jp/>) から見る事ができます。トップページの右下にある「議会だより」をクリックしてください。ぜひ、この機会にウェブサイトもご覧ください。

笑顔あふれる村づくりを!!

# ふだいのげんき!



## 一般質問その後...

村はどう対応したのか!

平成30年3月定例会・予算委員会質問から

### 質問 「浜の産直きらうみ」今後の見通しは

キラウミ公園の産直施設は昨年2名で営業していたが、今後の見通しはどうか。

### 答弁 施設を改修し、スペースを活用

改修をしてスペースを有効活用し、観光シーズンに間に合うようにしたい。



## 現在 7月8日、オープンしました!

「浜の産直きらうみ」は、7月8日にオープン。今シーズンの営業を開始しました。村商工会を通じての募集で、「海進丸水産」(合砂ルリ子代表)が運営。産直の販売スペースには村の海産物などの特産品が並べられています。

3連休最終日の7月16日には、天候にも恵まれ村内の人や青森県八戸市から訪れた人などが立ち寄っていました。



V O I C E  
未来予想図 Fudai



人の温かさ感じます

おにつか  
鬼東 恵理香さん (36)

普代はとても人が温かいと感じます。来て半年ぐらいですが、皆さん声をかけてくださったり、野菜や手作りのおもちゃをいただいたり、自分の孫のように接して下さいます。また、普代の商店には元気な方が多く、会うと元気をいただきます。

私が生まれた宮城県女川町は、海水浴場が遠いところにあり車で何分もかかりますが、普代は近くに素敵な海がありますね。将来は人が減っても、この人のつながり・温かさのある村であってほしいと思います😊



人がフレンドリー

はやと  
中村 駿人さん (24)

釣りやバレーボールが好きで、キラウミの辺りにはよく行きます。景色がよくBBQ(バーベキュー)ができていいけど、キャンプができなかったり、シャワーを浴びるにも橋がないし、残念なところもあります。

将来は、子供が遊べる場所が増えればいいですね。知人に遊べる場所がないか聞かれましたが、答えられませんでした。あと、住むところが少ないので、そこをお願いします。

お勧めの場所は、私がハウレンソウを作っているハウスですかね(笑)😊

議会にお出でください。

村議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議会議場で開かれます。議員は議場でどんな発言をしているのか、また、どんな村づくりを考えているのか、今後の村の方向性を直接聞くことができる機会です。ぜひ、お越しください。

また、役場1階にある村民ホールのテレビでも議会中継を見ることができますので、お気軽にどうぞ。

6月定例会の傍聴者は1人でした。

次回は9月中旬を予定

議会の傍聴、お待ちしております!!

問=議会事務局 (☎35-2118)



村づくりの方向性が決まる議会の傍聴を、ぜひ!

あ  
と  
が  
き



2年前の台風被害による羅賀橋復旧はまだ継続中です。今月(7月)の西日本豪雨災害も広範囲であり大変な被害状況です。被災者の皆様には言葉のかけようがありません。ある河川の専門家によると、平成27年の鬼怒川堤防決壊被害以前から、ダム整備より堤防強化の必要性を訴えていましたが、政府はダムを優先し堤防強化に動かなかったことを指摘しています。インフラ整備強化と聞く耳は大事ですね。(中上二登)

西日本を中心に、広い範囲で記録的な大雨が降り甚大な被害が発生しました。温暖化が進む中、全国各地で災害発生が増えると予測されています。7月13日の岩手日報論説に「豪雨避難、常に心構えを欠かさず」とありました。皆さんもご覧になったと思います。災害に備えるため、家族・地域・行政で読み直してください。(森田幸二)

議会広報常任委員会  
委員長 森田 幸一  
副委員長 中正 路正  
委員 嵯峨 典行

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。



■発行日 平成30年7月26日 ■発行 普代村議会 ■編集 議会広報常任委員会  
〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13番地2  
TEL 0194-35-2118 FAX 0194-35-2712